

## 単元名 につぼんのうた みんなのうた(2)

配当時間 1時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わり、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、呼吸及び発音に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 歌詞の抑揚や曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

05070202\_001

【教材名】 赤とんぼ（歌唱） 山田耕筰，中田喜直のうた（鑑賞）（P78～） （P. 32～P. 33）

【準備等】 鑑賞CD，ワークシート，範唱CD

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 歌詞の内容を理解し、情景を思い浮かべながら歌ったり鑑賞したりする。</p> <p>○学習課題をつかみ、「赤とんぼ」の情景を思い浮かべながら歌う。</p> <p>★旋律を生かして言葉を大切に歌おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・範唱を聴き、楽曲全体の感じを捉える。</li> <li>・歌詞を朗読して内容をつかみ、歌詞のイメージや言葉の抑揚を感じ取る。</li> <li>・歌詞のイメージと結び付いている旋律の流れに関心をもって、情景を思い浮かべながら歌う。</li> </ul> <p>○強弱記号に気を付け、曲想を生かして歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強弱記号を理解して歌う。</li> </ul> <p>○言葉を大切に表情豊かに歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞と旋律の流れの結び付きを意識しながら、歌い方を工夫する。</li> </ul> <p>○山田耕筰の歌曲「待ちぼうけ」「ペチカ」、中田喜直の歌曲「星とたんぼ」「ちいさい秋みつけた」を鑑賞する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「赤とんぼ」を含め5曲を通して聴き、それぞれの楽曲の特徴を感じ取る。</li> <li>・気付いたことや感じたことを発表する。</li> <li>・山田耕筰について知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞が表しているイメージや内容を十分味わうために、繰り返し朗読させる。また、情景を具体的に絵で表してもよい。</li> <li>【資料】三木露風は、5歳の時、幼稚園から帰宅すると、戸が板で打ち付けてあり、母親が弟を連れて出て行った後だった。その後家の裏山に通じる紅葉谷と呼ばれる道で母が帰ってくるのを待ちながら遊び続けたが、母が帰ってくることはなかった。</li> <li>【評】歌詞の抑揚や曲の特徴を生かして歌う活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>・実際に歌い、聴き比べながら、強弱記号を付けて歌う場合と付けずに歌う場合とでは、曲想に違いが出ることに気付かせるようにする。</li> <li>【評】旋律の流れを聴き取り、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・歌詞と旋律の結び付きや強弱記号など今まで学習してきたことを生かすように助言する。</li> <li>・1～3番は昔を懐かしんでいる様子、4番は今現在の目の前の光景であることに気付かせる。</li> <li>【共通事項】旋律 強弱</li> <li>【評】呼吸及び発音、自然で無理のない発音に気を付けて歌う活動を通して「技能」を評価する。</li> <li>・山田耕筰と中田喜直について、P78を参考に簡単に紹介し、日本歌曲のすばらしさや面白さを感じ取らせてもよい。</li> <li>【資料】山田耕筰は、カルピスの名付け親である。</li> <li>・1曲ずつ、言葉のリズムや抑揚、旋律の動きや流れに気を付けて聴かせ、気付いたことを記入させる。</li> <li>【共通事項】旋律 強弱</li> <li>・山田耕筰の生い立ちや主な作品について知らせる。「この道」やたくさんの校歌を作曲したことを伝えてもよい。</li> <li>【評】曲想と、旋律など音楽の構造、歌詞の内容との関わりを理解して聴く活動を通して「知識」を評価する。</li> </ul>

【 備 考 】